

○ 公園

ベンチに腰掛けている栗山風。スマホで自撮りして、林に送っている。

誰かの声 「風さん！」

息を切らした柗忍（23）がドリンクを持ってやってくる。

忍 「タピオカドラゴンフルーツティー、一キロ先の店に売ってました！ーすみません。走ったので少し崩れてしまいましたが・・・どうぞ！」

風 「（受け取って）どうも」

N 「おやおや。風ちゃん、誰と一緒にいるのかな？」

○ オープニング

メインタイトル 『来世ではちゃんとします3』

○ サブタイトル

N 「ノンケが好きな男の娘と、男の娘好き」

○ 公園

ドリンクを飲んでいる風。その隣で忍が風をうっとり見つめてくる。

忍 「また会ってもらえるなんて、夢みたいです！」

N 「彼の名は、終忍。風ちゃんとSSで知り合った一橋大生なんだよね」

忍 「前は緊張して不躰に思いの丈を伝えてしまったので・・・嫌な思いをさせてしまったかと・・・」

風 「ボクのどこがいいんですか？」

忍 「初めて写真をお見かけした時に、なんて可愛らしい方なんだと一目惚れしてしまいました。だけど実際にお会いしてみたら・・・スラリと伸びた華奢な手足、透き通るような白い肌、心の奥まで見透かされてるような美しい茶色い瞳・・・上品な仕草・・・全てに心奪われてしまい」

風 「ふうん、そうなんだ」

風(オフ) 「あ・・・そうだった。女になびいたアホな勝さんに執着しすぎて忘れてたけど、ボクって結構モテるんだった」

忍 「風さん、今日のお洋服も素敵です。服自体も可愛らしいですが、風さんが着られると華やかさが増して・・・」

風 「・・・あ、ありがとう」

風(オフ) 「ちよつと変だけど優しいし、高学歴高身長で僕好みのガツシリ体型、顔もいいし・・・すごく好条件なのに・・・」

忍 「僕、昔から、風さんみたいに可愛い男の子が好きで好きでたまらないんです！」

真っ直ぐに風を見つめてくる忍。

風 「まさしくボクだけど、言い方ちよつとキモい」

忍 「ああっ、すみません！」

風(オフ) 「でも昔っからボク、ノンケばっか狙っちゃうんだよなあ。しかも久々に攻めても落ちない奴に出くわしたからあんなに執着して・・・」

× × ×

風の回想。寝言を言う林。

林 「梢ちゃん！」

× × ×

風、プルプル震えながら、

風 「あー！ムシヤクシヤするー！！！！！」

忍 「風さんどうしました？」

凧 「(忍に) 冷たいもの飲んだから、体が冷えちゃったよ！温かいものが欲しい」

忍 「それは大変だ！少々お待ちください！！」

忍、猛ダツシユで駆けていき。

凧 「?？」

××××

息を切らした忍が、缶コーヒートホカホカの焼き芋を差し出す。

忍 「SNSに「ちらの銘柄が好きだ」って投稿されましたよね、どうぞ！」

凧 「(受け取って) ありがと……」

焼き芋を頬張る凧。

それを愛おしげに見つめる忍。

忍 「あの、風さん……好きです！改めまして僕とお付き合いしていただけませんか？」

ひざまずく忍。

凧(オフ) 「なんて真っ直ぐな変態……」

凧 「君、変わってるけどなんか良い奴っぽいから正直にいうよ。ボク好きな男がいる。」

「え……」

凧 「言うのが遅くなって悪かったよ」

「……そうでしたか」

凧 「ちよっと嫌なことあって、迷ってたけど……やっぱりゴメン。」

忍 「そんな……そんなのって……」